

創 つくる

二〇〇四年九月からハンガリーのリスト音楽院ソルター・コダーイ音楽教育研究所で学ぶ。初年度は音楽指導者基礎コース、昨年九月からは合唱指揮コースに在籍する。

なぜハンガリーか。敬愛する作曲家ミクローシュ・コチャール氏が住む国を見たかったから。そして、合唱団ハンガリーを代表する作曲家コダーイが確立した、民謡など伝統音楽を生かした音楽教育

半年後、同じ教官から出た言葉は「来年もここで学ぶなら(上級の)指揮科に入れるわよ」。留学目的の「本場の指揮者」に一步近づいた。中学で本格的に合唱を始

「コダーイ・システム」を学ぶため。期待と不安で臨んだ留学最初の試験。「これから長い道のりだと思いたくない」。指導教官の言葉が胸に響く。日本に帰れと言われなかっただけよかったですと覚悟を決めて懸命に学んだ。



め、福島女子高(現橘高)、東北学院大で女声合唱に親しむ。大学在学中に友人たちと「合唱団ピアチェレ」を結成、活動に打ち込んだ。

やぎ・みか 1973年福島県川俣町生まれ。東北学院大卒業後、国家公務員として東北などに勤務。95年女声合唱団ピアチェレを結成し、常任指揮者。ハンガリーのリスト音楽院ソルター・コダーイ音楽教育研究所に留学中。自宅は仙台市太白区。



定期演奏会前日のリハーサルで指揮をする八木さん＝1月27日、仙台市太白区の楽楽楽ホール

楽しく歌う輪を広げる

合唱指揮者 八木 美華さん(32)

感がある、響きがかれん。音域が幅広くて深みが出せること。笑顔で歌っていると、一番いい響きが生まれる。だから、楽しく歌ってもらうことを心掛けている。だが団を成長させていく過程で自分の力に限界を感じた。悩むが、仕事を辞める決心はつかない。駄目でもともとと思って出した留学申請許可の知らせが背中を押した。現在は指揮を中心に、ピア

人、ソルフエージュを学ぶ。合唱指導では、自分のやり方が間違っていないかと確信できた。一月に休暇を利用して臨んだピアチェレ創団十周年記念演奏会では、コチャール氏への委嘱作品の世界初演を実現した。六月に留学を終えて仙台に戻る。成果は待っていてくれた団員に還元するだけでなく、歌う仲間を増やすことに生かすつもりだ。合唱は誰にでもできるし、取っつきやすい。何よりみんなで声を合わせるの、楽しいよって。

「カルチャー」面への感想や情報をお寄せください。
〒980-8660 河北新報社生活文化部 電話 022(211)1132
ファクス 022(211)1152

★合 エビス 会合 エビス 7回定 奏会、 日、仙 青葉区 青年文 ンターで開かれる。

曲目は高田三郎作曲「合唱組曲『水のいのち』」
「雨」、池辺晋一郎作曲
「の子守唄」より「空と
子守唄」、G・フォーレ
「レクイエム」など。

(生活文化部・佐藤素子)